

平成25年度 第3回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概要>

受注量について、一昨年9月末調査以来の改善傾向が今回も続き、DI値は全調査項目でDI値が上昇となった。

一方で、業種別に見ると、輸送用機器と縫製では、全ての項目でDI値がマイナスとなっており、他の業種に比べて景況改善は遅れている。

<今回調査の特徴>

- 受注量：金属製品、樹脂製品で半数以上が受注増。縫製では大きく減少。
- 受注見通し：引き続き増加の見通し。特に金属製品で顕著。
- 受注単価：全体では改善の傾向。
- 資金繰り：「好転」は増えないものの、「悪化」が減少し全体としては改善の傾向。
- 採算状況：「黒字」「収支トントン」で7割超。輸送用機器では4割超が「赤字」。
- 受注余力：「余力あり」は72%。鉄鋼・非鉄、縫製では4割超が「余力なし」。

(平成25年12月末現在)

公益財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	30企業	② 金属製品関係	45企業
③ 一般機器関係	45企業	④ 電気機器関係	45企業
⑤ 輸送用機器関係	30企業	⑥ 精密機器関係	30企業
⑦ 縫製関係	45企業	⑧ 樹脂製品関係	30企業

(3) 調査時点

平成25年12月31日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

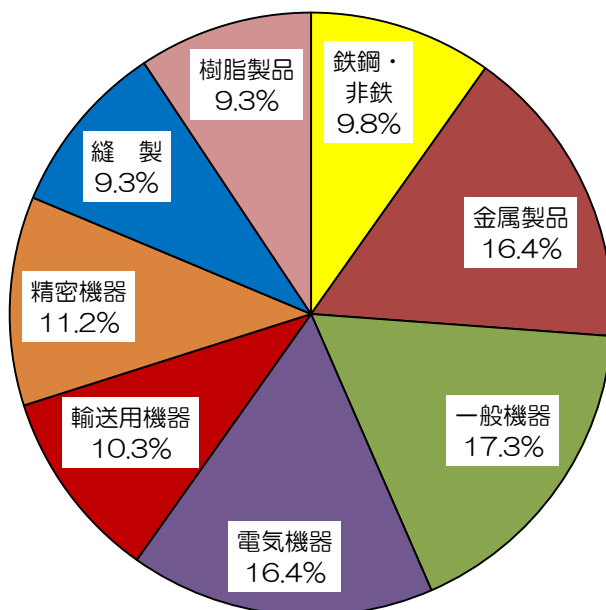
調査項目（受注量、受注量の今後の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回収状況

① 調査対象企業数	300 企業		
② 回収企業	214 企業		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	21 企業	(9.8%)
	金属製品関係	35 企業	(16.4%)
	一般機器関係	37 企業	(17.3%)
	電気機器関係	35 企業	(16.4%)
	輸送用機器関係	22 企業	(10.3%)
	精密機器関係	24 企業	(11.2%)
	縫製関係	20 企業	(9.3%)
	樹脂製品関係	20 企業	(9.3%)
④ 回収率	71.3 %		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
個人	14 6.5%	1 4.8%			1 2.9%		1 4.2%	10 50.0%	1 5.0%
~300万円	13 6.1%		3 8.6%		1 2.9%	4 18.2%	1 4.2%	2 10.0%	2 10.0%
301~999万円	8 3.7%		2 5.7%			3 13.6%		1 5.0%	2 10.0%
1000~2000万円	121 56.5%	11 52.4%	25 71.4%	22 59.5%	23 65.7%	7 31.8%	15 62.5%	7 35.0%	11 55.0%
2001~5000万円	43 20.1%	6 28.6%	5 14.3%	13 35.1%	7 20.0%	4 18.2%	4 16.7%		4 20.0%
5000万円超	15 7.0%	3 14.3%		2 5.4%	3 8.6%	4 18.2%	3 12.5%		
合計	214 100%	21 100%	35 100%	37 100%	35 100%	22 100%	24 100%	20 100%	20 100%

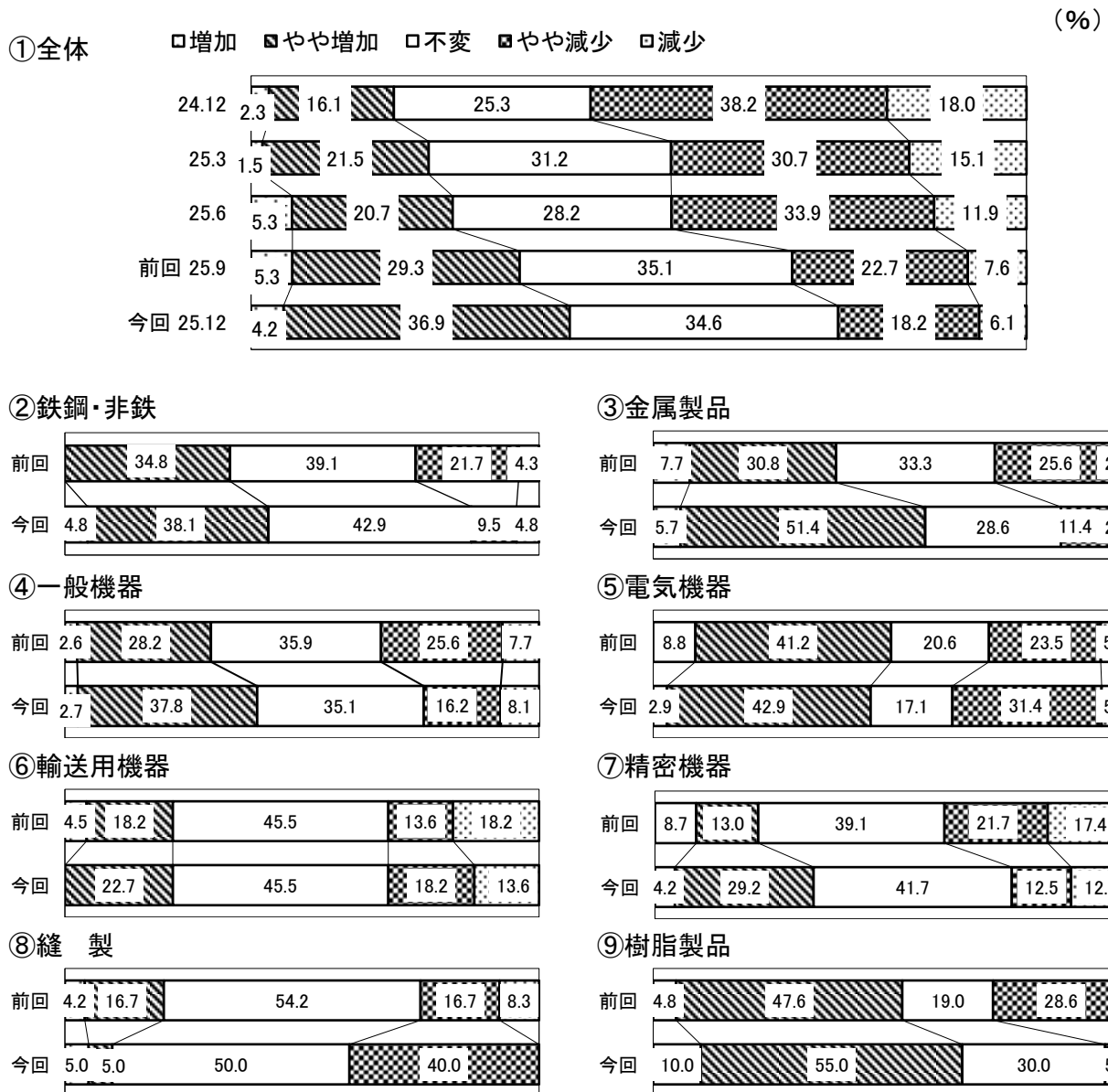
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
1~5人	27 12.6%	5 23.8%		2 5.4%	2 5.7%	3 13.6%	1 4.2%	11 55.0%	3 15.0%
6~10人	20 9.3%	3 14.3%	4 11.4%	1 2.7%	4 11.4%	2 9.1%	4 16.7%	1 5.0%	1 5.0%
11~20人	59 27.6%	2 9.5%	13 37.1%	11 29.7%	8 22.9%	8 36.4%	6 25.0%	5 25.0%	6 30.0%
21~30人	35 16.4%	3 14.3%	9 25.7%	10 27.0%	4 11.4%	3 13.6%	2 8.3%	1 5.0%	3 15.0%
31~50人	28 13.1%	5 23.8%	4 11.4%	6 16.2%	6 17.1%	1 4.5%	3 12.5%	1 5.0%	2 10.0%
51人以上	45 21.0%	3 14.3%	5 14.3%	7 18.9%	11 31.4%	5 22.7%	8 33.3%	1 5.0%	5 25.0%
合計	214 100%	21 100%	35 100%	37 100%	35 100%	22 100%	24 100%	20 100%	20 100%

3. 調査結果

(1) 受注量について



○全体

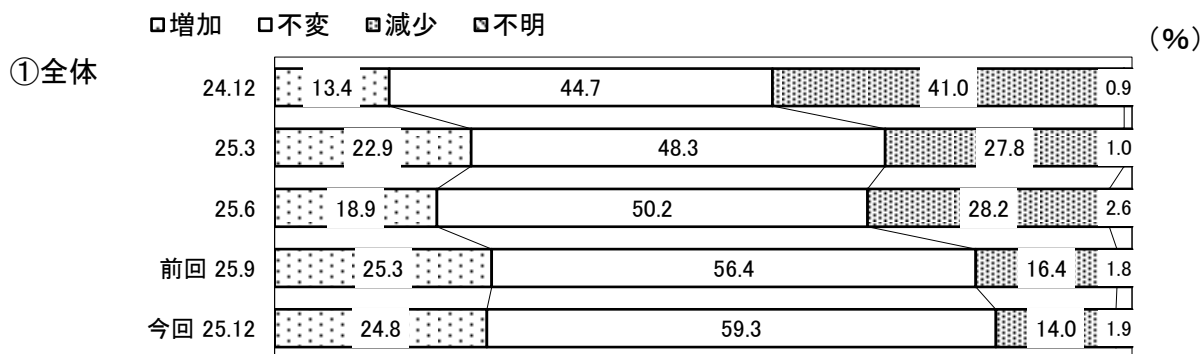
10月～12月期の全体の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は16.8となり、前期（7月～9月）に比べ12.5ポイント改善が見られる。

○業種別

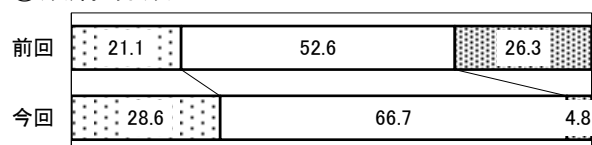
業種別D Iでは、樹脂製品で「増えた」とする企業65.0%に対して「減った」とする企業が5.0と大きく減少して60.0（前期差36.2ポイント上昇）、金属製品では「増えた」とする企業が57.1%と増加して42.8（前期差32.5ポイント上昇）とそれぞれ大幅な改善が見られる。その他、精密機器でも8.4（前期差25.8ポイント上昇）と改善が見られる。

一方で、縫製は△30.0（前期差25.9ポイント低下）と前回調査に続いて悪化が見られ、他にも、電気機器でも悪化が見られる。

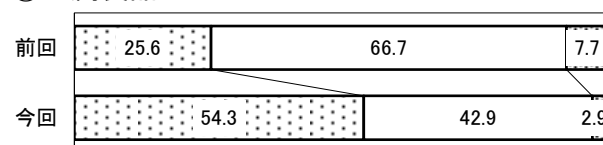
(2) 受注量の見通しについて



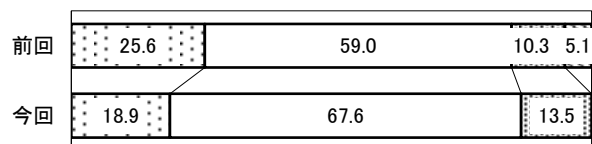
②鉄鋼・非鉄



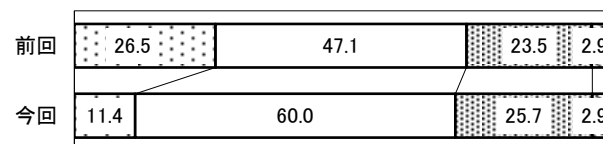
③金属製品



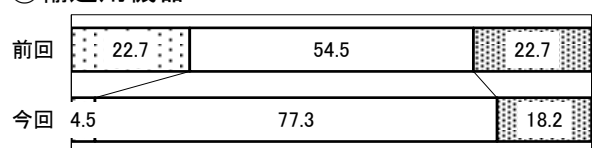
④一般機器



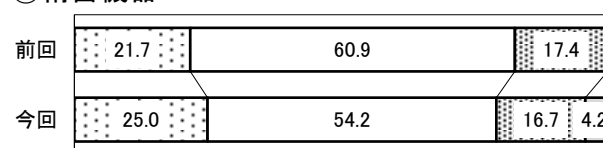
⑤電気機器



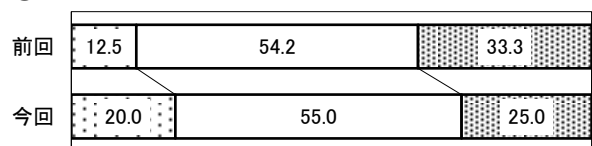
⑥輸送用機器



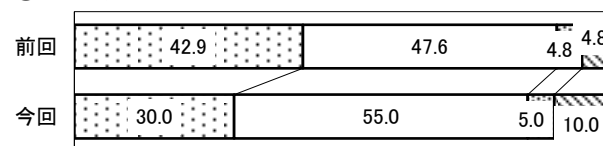
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

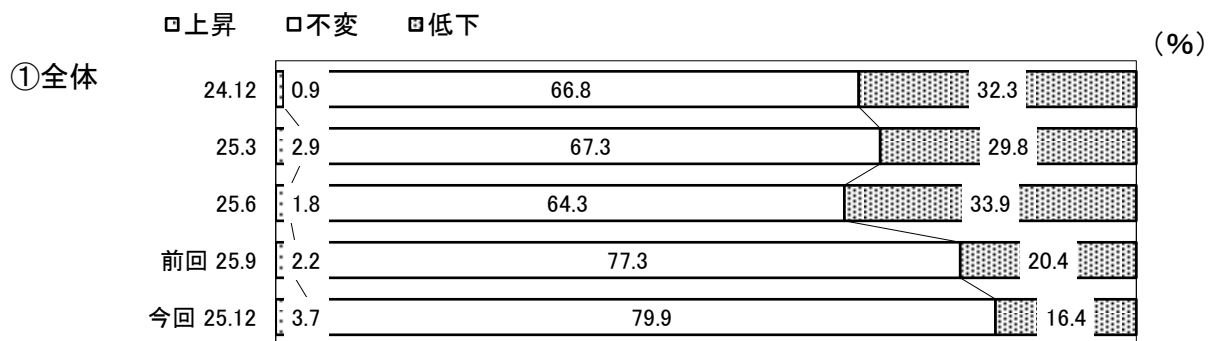
次期（1月～3月期）受注量見通しの全体の業況判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は10.8となり、前回（10月～12月）に比べ1.9ポイントと僅かに改善の見通しとなっている。

○業種別

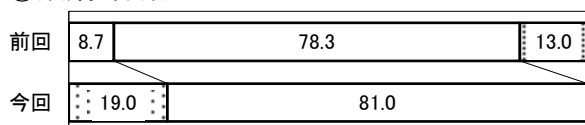
業種別D Iは、「受注量」で増加がみられた金属製品及び鉄鋼・非鉄でそれぞれ、51.4（前期差33.5ポイント上昇）、23.8（前期差29.0ポイント上昇）とさらに増加傾向の見通しとなっている。また、樹脂製品でも、25.0（前期差13.1ポイント低下）と前期と比較するとポイント低下となるものの、30%の企業がさらに「増加」と見通している。

一方で、受注量で悪化がみられた電機機器で△14.3（前期差17.3ポイント低下）、輸送用機器で△13.7（前期差13.7ポイント低下）とさらに悪化の見通しとなっている。

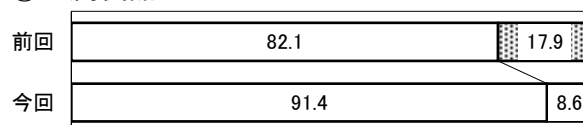
(3) 受注単価について



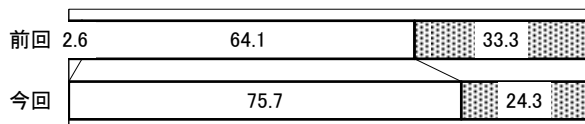
②鉄鋼・非鉄



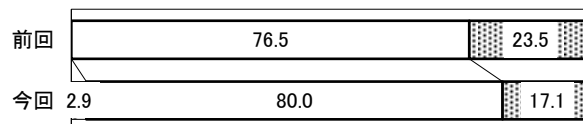
③金属製品



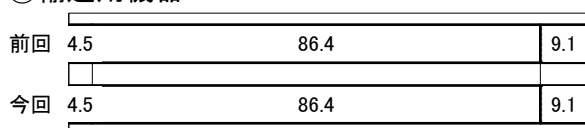
④一般機器



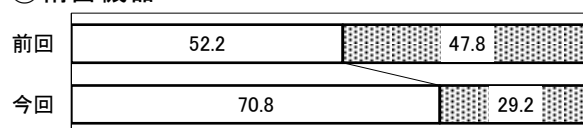
⑤電気機器



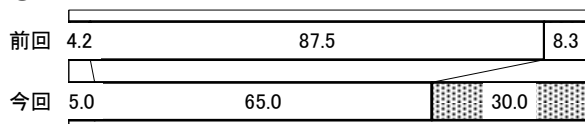
⑥輸送用機器



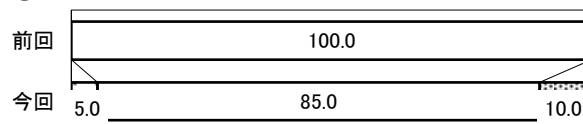
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

10月～12月期の全体の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は△12.7とマイナス幅が縮小し、前期（7月～9月）に比べ5.5ポイントの改善が見られる。

○業種別

業種別DIは、鉄鋼・非鉄で「低下」の企業はなく、19.0（前期差23.3ポイント上昇）と大きく改善が見られる。

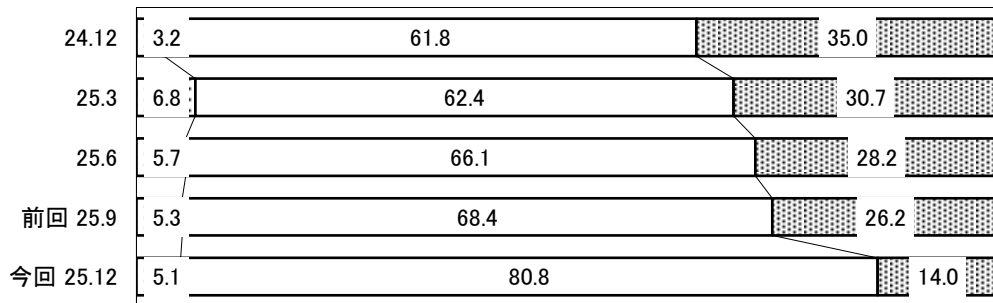
縫製では、△25.0（前期差20.9ポイント低下）と悪化が見られる。

(4) 資金繰りについて

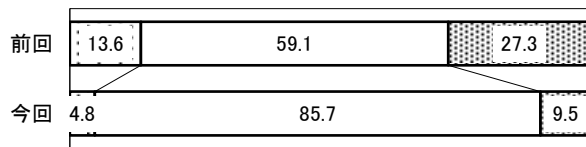
(%)

①全体

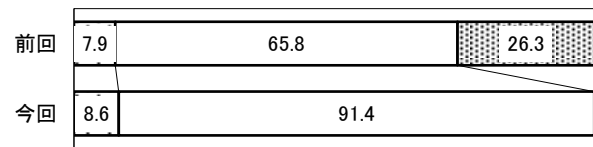
□好転 □不変 □悪化



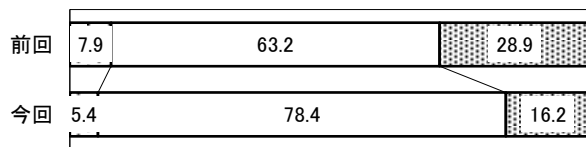
②鉄鋼・非鉄



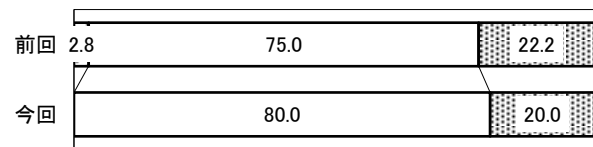
③金属製品



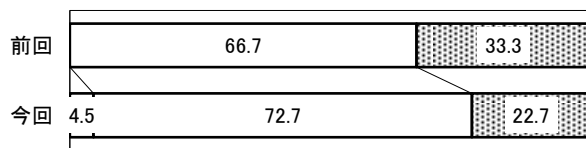
④一般機器



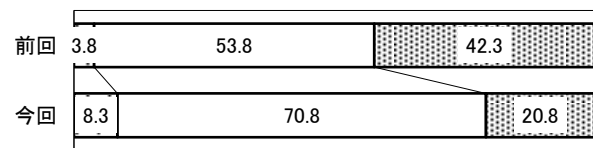
⑤電気機器



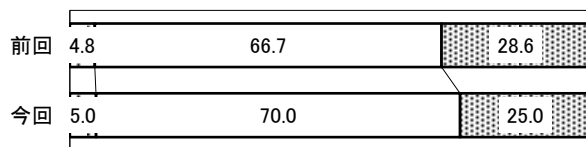
⑥輸送用機器



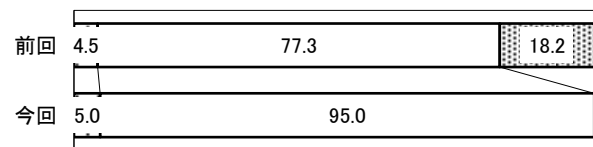
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

10月～12月期の全体の業況判断DI（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は、△8.9で前期差12.0ポイント上昇と前回調査に続いて改善傾向が見られる。

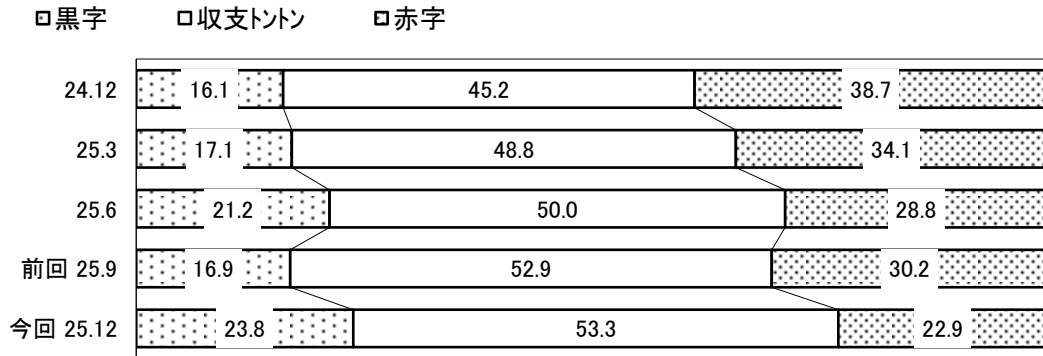
○業種別

業種別DIは、金属製品で8.6（前期差27.0ポイント上昇）、精密機器で△12.5（26.0ポイント上昇）と大きく好転が見られる。
一方で、電気機器では、△20.0（前期差0.6ポイント低下）と若干ではあるが唯一悪化となっている。

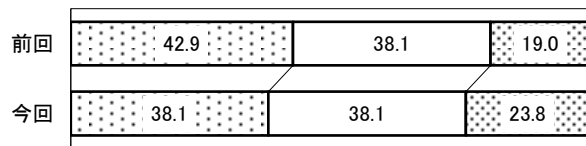
(5) 採算状況について

(%)

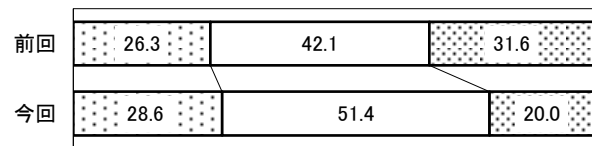
①全体



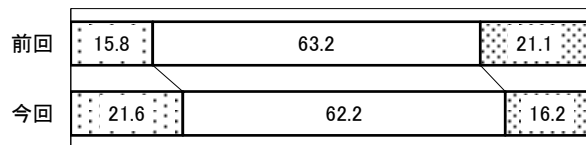
②鉄鋼・非鉄



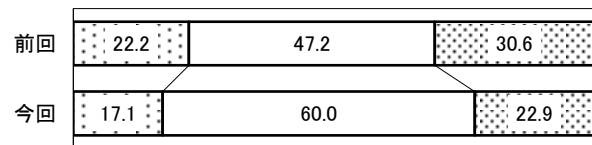
③金属製品



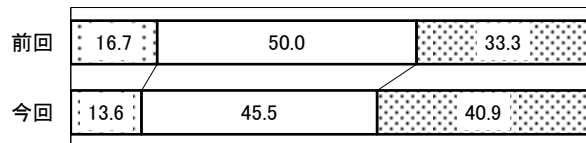
④一般機器



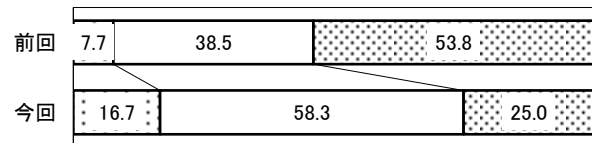
⑤電気機器



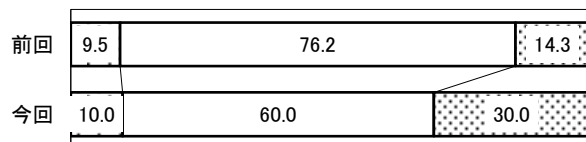
⑥輸送用機器



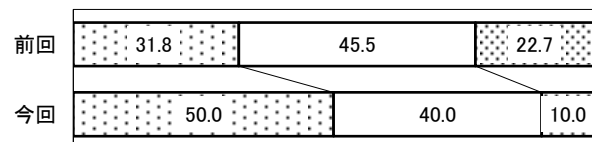
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

10月～12月期の全体の業況判断DI（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は0.9となり、前期（7～9月）に比べて14.2ポイント上昇と改善が見られる。

○業種別

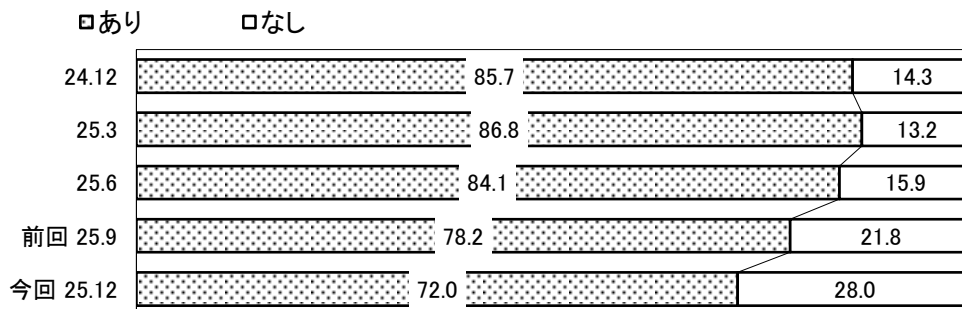
業種別DIは、精密機器で△8.3（前期差37.8ポイント上昇）、樹脂製品で40.0（前期差30.9ポイント上昇）と大きく改善が見られる。

一方、縫製で△20.0（前期差15.2ポイント低下）、輸送用機器で△27.3（前期差10.7ポイント低下）と悪化が見られる。

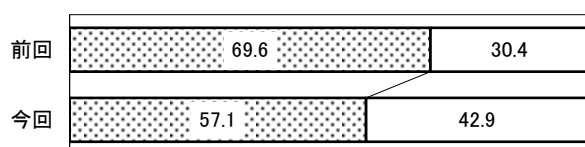
(6) 受注余力について

(%)

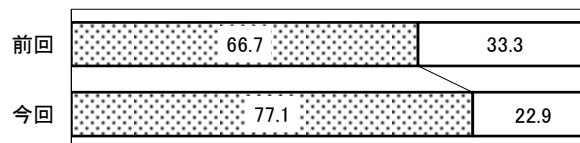
①全体



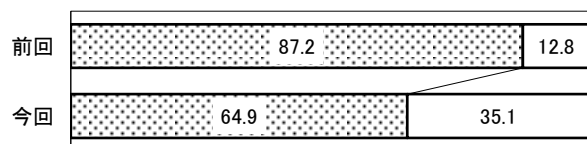
②鉄鋼・非鉄



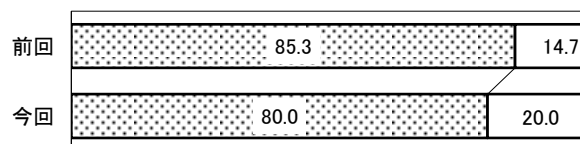
③金属製品



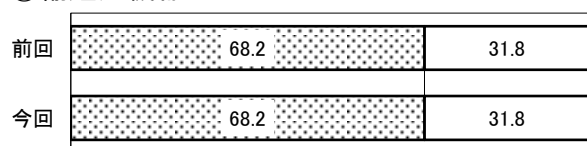
④一般機器



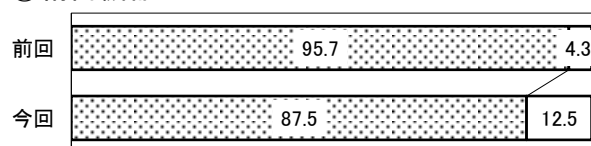
⑤電気機器



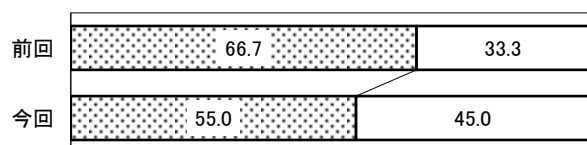
⑥輸送用機器



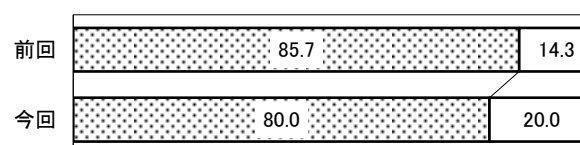
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

「受注余力あり」とする企業は、72.0%と前期に比べて6.2ポイント減り、3期連続の減少となった。

○業種別

縫製では、受注量が減少しているにもかかわらず45.0%が「受注余力なし」としている。



公益財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-9234 FAX (075) 315-9240

E-mail: office@ki21.jp

U R L : <http://www.ki21.jp>